

国内最大級のスタートアップコミュニティ creww がスタートアップ企業のリアルを大調査！

「一般企業とスタートアップ企業の違いに関する調査」

一般・スタートアップともに業績 UP 企業は “働き方改革”を大幅に進めているファクトが鮮明に！！ スタートアップ企業で 83.3%、一般企業で 82.7%が改革中

一般企業はフレックス・時短・在宅が、スタートアップ企業はフレックス・リモート・在宅が TOP3

ただし、スタートアップ企業はリモート導入率が一般企業の3倍以上！！ヒゲ OK の企業が 6 割

国内最大級のスタートアップコミュニティ^{※1}を運営する Creww 株式会社（所在：東京都目黒区 代表取締役：伊地知 天「以下、Creww」）は、2018 年 12 月 20 日（木）～2019 年 1 月 9 日（水）に「一般企業とスタートアップ企業の違いに関する調査」を行いました。

※1 スタートアップ企業を中心に、投資家やアドバイザーなどのサポーターが参加するコミュニティ

◆「一般企業とスタートアップ企業の違いに関する調査」トピックス

「働き方」に関して取り入れている制度は？ 「リモートワーク」を取り入れて業績 UP！

一般企業は「フレックスタイム」、「短時間勤務制度」、「在宅勤務」が TOP3 となり、スタートアップ企業は「フレックスタイム」、「リモートワーク」、「在宅勤務」が TOP3 に。なかでもスタートアップ企業は「リモートワーク」の導入率が高く、一般企業と比較し 36 ポイントの差。

業績が伸びている一般企業では「とくになし」と回答した方は 17.3%にとどまり、82.7%が働き方改革に取り組んでいることが判明。なかでも「フレックスタイム」が 59.3%と最も多い。スタートアップでは、業績が伸びている企業の 83.3%が働き方改革に取り組んでおり、なかでも「フレックスタイム」や「リモートワーク」を取り入れている企業が多い。従業員規模にかかわらず働き方改革に取り組むことで業績が UP しているようだ。

OK な服装は？ デニムの着用、一般企業 17.0%に対しスタートアップ企業は 70.0%が問題なし！

一般企業の 75.5%が、「ノーネクタイ」OK。しかし、「ヒゲ」OK の企業となると 33.0%と激減。一方、スタートアップ企業では「ノーネクタイ」OK の企業が 98.0%、「デニム」、「スニーカー」、「T シャツ」、「ヒゲ」、「ネイル」、「ピアス」は半数以上が OK だと回答した。

普段の勤務スタイルは？ 一般企業はスーツスタイル、スタートアップ企業ではジャケパンスタイルが最多

一般企業は「スーツ」スタイルが 58.0%、スタートアップ企業では「ジャケット・パンツ・スカート（スーツ以外）」のジャケパンスタイルが 42.0%で最多。また、一般企業の役職者は一般社員と比較し、「スーツ」スタイルが多い。スタートアップ企業では一般社員と同様のジャケパンスタイルが多く、社員との距離が近そうだ。

仕事の日のトータルコーデネート、いくら？ スタートアップ企業のなかでは「1,000,000 円」との回答も！

一般企業のトータルコーデネートの費用は平均「53,069 円」だが、スタートアップ企業は平均「49,680 円」。その差は 3,389 円となった。しかし、最高金額をみると、スタートアップ企業のなかでは「1,000,000 円」との回答も。

社内・社外で連絡を取る際のツールは？ スタートアップ企業はオンラインコミュニケーションツールを活用

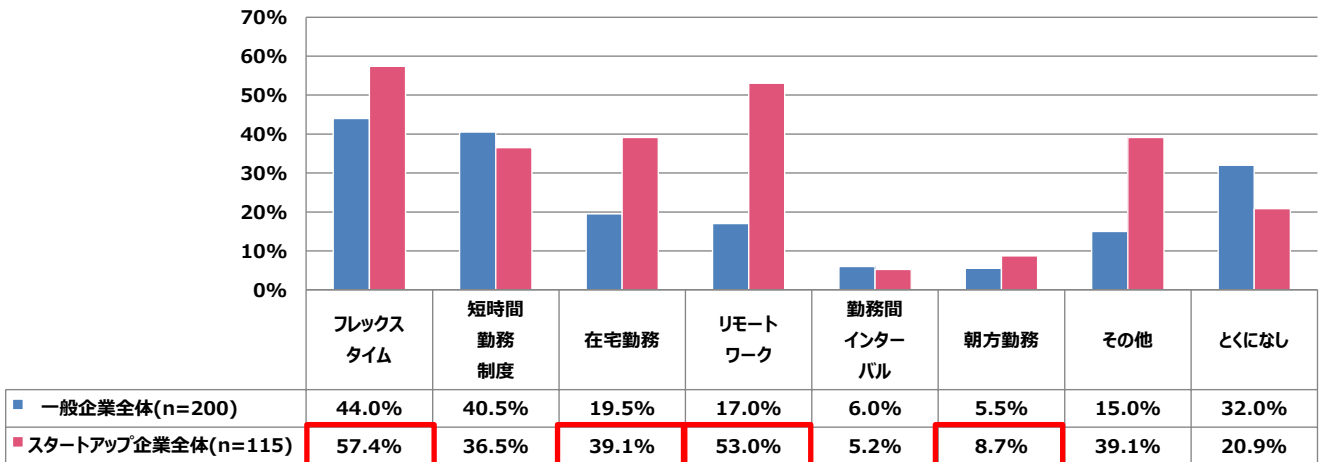
社内では、一般企業は「メール」が最も多く、次いで「電話」。しかし、スタートアップ企業では「メール」に次いで、「Slack」が 2 位。オンラインコミュニケーションツールを活用しているスタートアップ企業が多いようだ。スタートアップ企業が社外への連絡もオンラインコミュニケーションツールを活用。

【調査概要】

1. 調査の方法：WEB アンケート方式で実施
2. 調査の対象：一般企業／従業員規模 300 名以上の企業にお勤めである 20 歳～59 歳までの会社経営者・役員・団体役員、会社員・団体職員（派遣・契約社員含む）であり、オフィスで働く方を対象に実施
スタートアップ企業／国内最大級のスタートアップコミュニティに登録するスタートアップ企業にお勤めの方を対象に実施
3. 有効回答数：一般企業 200 名
スタートアップ企業 150 名
4. 調査実施日：2018 年 12 月 20 日（木）～2019 年 1 月 9 日（水）

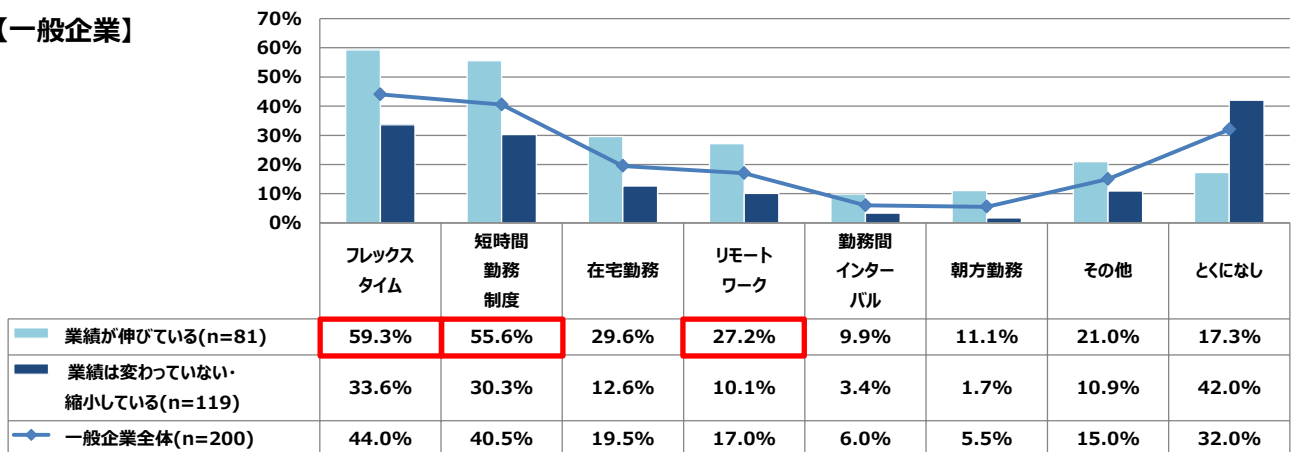
スタートアップ企業とは、独自の技術やアイデアによる前例のないビジネスモデルの創造を通じて人々の生活や社会課題を解決することを目的とする、主に起業してから 10 年以内の少人数による新興企業を表す。大手企業の傘下に属さず、独立企業として短期間で急成長を目指す傾向を持つ。

Q. あなたがお勤めの企業で「働き方」に関して取り入れている制度（法律上の制度、会社独自の制度を含む）をお答えください。【複数回答】



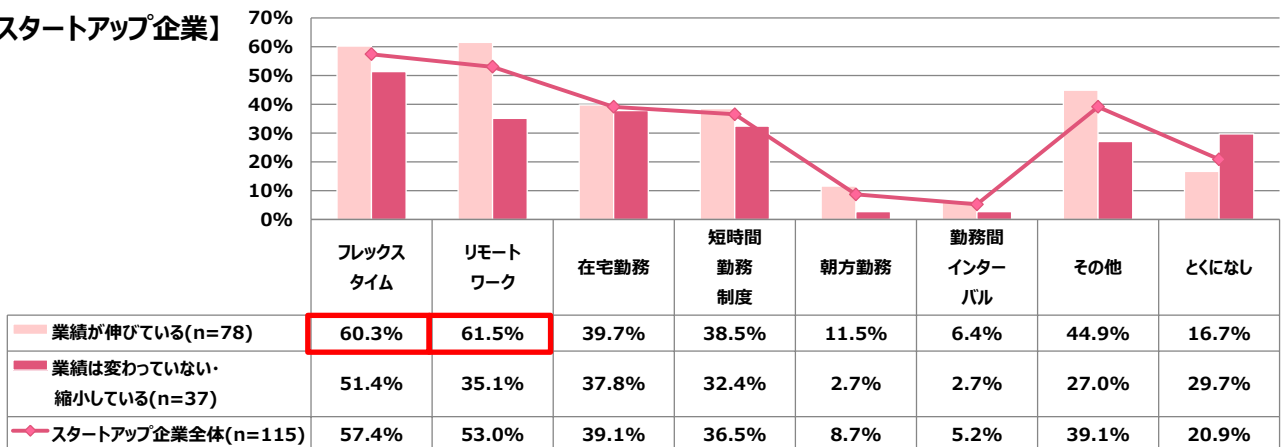
一般企業は「フレックスタイム」、「短時間勤務制度」、「在宅勤務」が TOP3 となり、スタートアップ企業は「フレックスタイム」、「リモートワーク」、「在宅勤務」が TOP3 となりました。また、一般企業とスタートアップ企業を比較すると、スタートアップ企業はとくに「リモートワーク」導入率における差が 36 ポイントと高く、「朝方勤務」を取り入れるなどユニークな制度の導入が見受けられました。一般企業よりもスタートアップ企業のほうが働き方改革に取り組んでいるといえます。

【一般企業】



業績が伸びている一般企業では「とくになし」と回答した方は 17.3%にとどまり、82.7%が働き方改革に取り組んでいることがわかりました。なかでも「フレックスタイム」が 59.3%と最も多く、業績が変わっていない・縮小している企業の 33.6%に対し、25.6 ポイント差となりました。「短時間勤務制度」や「リモートワーク」なども業績が伸びている一般企業は伸びていない企業よりも多く取り入れているようです。

【スタートアップ企業】



また、スタートアップ企業の業績で比較をすると、業績が伸びている企業のうち「とくになし」と回答した方は 16.7%にとどまり、83.3%が働き方改革に取り組んでいることがわかりました。なかでも「フレックスタイム」や「リモートワーク」を取り入れている企業が多いことがわかりました。従業員規模にかかわらず働き方改革に取り組むことで業績がUPしているようです。

■ 引用・転載時のクレジット表記のお願い

※本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例>「Creww 株式会社が実施した調査結果によると……」

■ サービス概要

Creww 株式会社は、国内最大級のスタートアップコミュニティを運営しており、主力事業としてスタートアップ企業と大手企業による新規事業創出のためのオープンイノベーションプログラム『creww コラボ』を手掛けています。スタートアップ企業の成長に必要な“ヒト（人材）・カネ（資金）・チャンス（機会）”に関するサービスを3つの事業を通じて展開しています。

▶ スタートアップ企業と大手企業による新規事業創出のためのオープンイノベーションプログラム「creww コラボ」

<https://creww.in/service/collaboration/>

「creww コラボ」とは、スタートアップ企業と大手企業による新規事業創出のためのオープンイノベーションプログラムです。スタートアップ企業は大手企業の様々なリソース（経営資源）を活用して自社の成長を加速することができ、一方で、大手企業はスタートアップ企業にリソースを提供することにより、リスクやコストを軽減し、短期間で新規事業創出の足がかりを得ることが可能です。また、本プログラムは、最初のシナジー確認から協業までの最終ゴールに向けて、オンライン上の簡単で迅速な選考プロセスの下、強力な連携機会の発掘が可能となります。

▶ コワーキングスペース「docks」

<https://docks.space/>

『docks』は、Creww が運営する国内最大級のスタートアップコミュニティをベースに誕生したコワーキングスペースです。スタートアップや起業家、大手企業、投資家等がリアルな場所で直接的に情報交換や交流ができる新たなコミュニティの形成を目的としています。また、新規事業創出に関して経験豊富なコミュニティマネージャーが常駐し、利用者間の交流を強力にサポートしているため、大手企業とスタートアップ 2 社間だけの交流でなく、複数社での交流や、大手企業同士など、これまでにない組み合わせのコミュニティがいたるところで誕生し、イノベーションが生まれやすい環境が構築されています。

▶ スタートアップ特化型 転職サービス「Starboard」

<https://starboard.work/>

『Starboard』は、国内最大級のスタートアップコミュニティ creww とのシナジーを生かしたスタートアップ企業に特化した人材サービスです。現在約 3,900 社のスタートアップ企業が登録しており、スタートアップコミュニティと連携したサービスを提供します。

★ スタートアップ業界に関する情報発信サイト「STARTUP ism」OPEN !

<https://startupism.creww.me/>

様々な切り口で起業家の経営イズムをひもとき、スタートアップに関するあらゆる情報を発信するスタートアップ総合情報メディア「STARTUP ism」を開設いたしました。ぜひご覧ください。

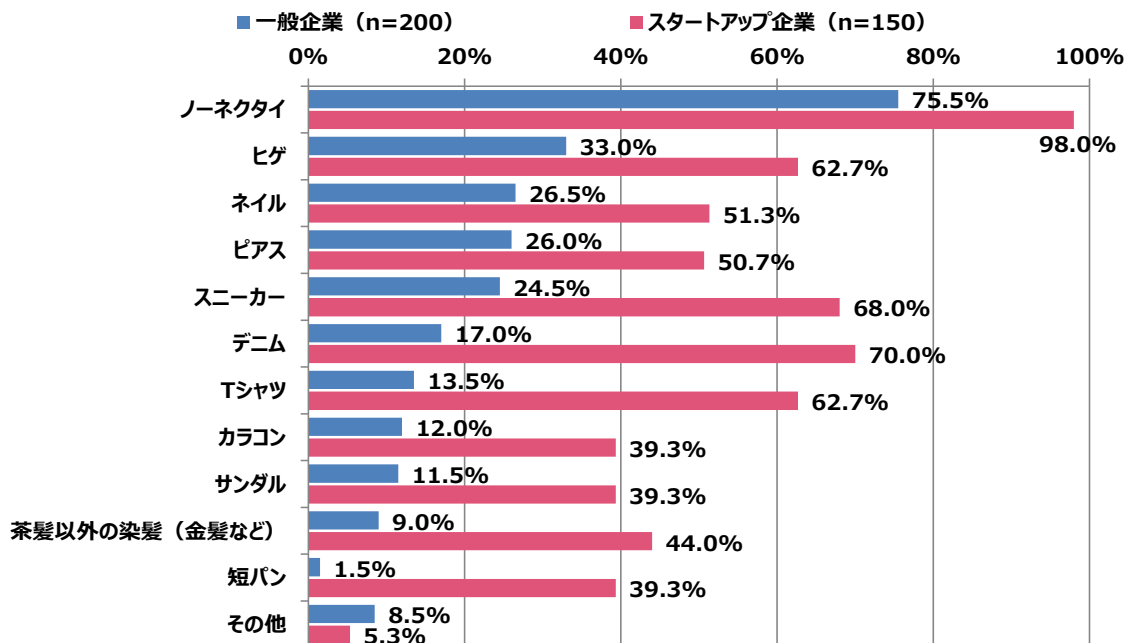
【Creww 株式会社の概要】

所在地 : 東京都目黒区青葉台 1-18-14 3F
代表者 : 代表取締役 伊地知 天 (いじち そらと)
創立年 : 2012 年
資本金 : 4 億 6,455 万円 (資本準備金含む)
主な事業内容 : スタートアップコミュニティの運営 (オープンイノベーションプログラム「creww コラボ」/コワーキングスペース「docks」/人材サービス「Starboard」)
URL : <https://creww.in/>

Creww 株式会社は、国内最大級のスタートアップコミュニティを運営する企業です。2012 年の創業以来、約 6 年間で、スタートアップ企業と大手企業による新規事業創出を目的としたオープンイノベーションプログラム「creww コラボ」を 100 社超の大手企業と実施し、400 件超の協業を実現してきました。これらの豊富なノウハウを活用し、スタートアップ企業を取り巻く環境の改善を提案することで、スタートアップ企業を中心としたコミュニティを活性化し、日本経済の発展に貢献します。

ファッションについて

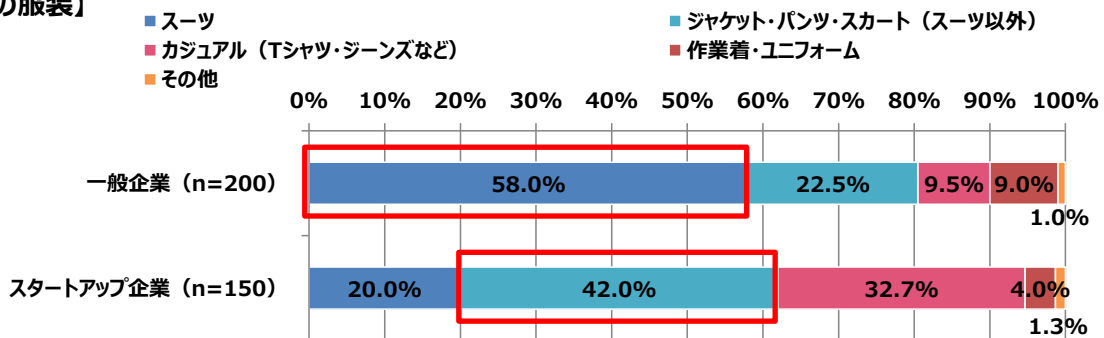
Q. あなたがお勤めの企業で問題のない服装・スタイルをお答えください。【複数回答】



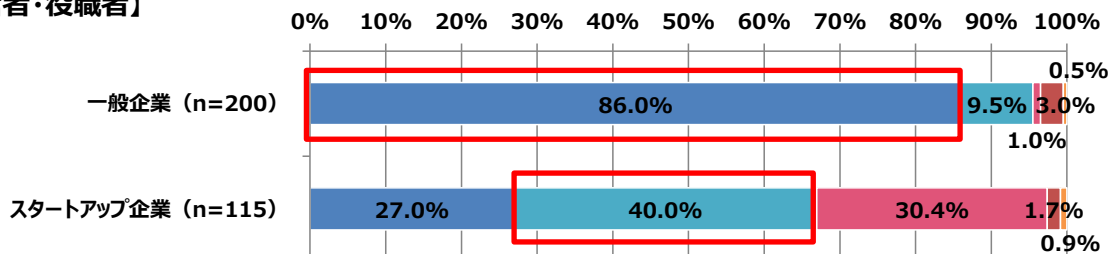
近年、ノーネクタイ OK という企業が増えています。今回の調査では一般企業の 75.5%が、「ノーネクタイ」OK でした。しかし、「ヒゲ」OK の企業は 33.0%と半数以下に減っています。一方、スタートアップ企業では「ノーネクタイ」OK の企業が 98.0%、「デニム」は 70.0%、「スニーカー」は 68.0%、「T シャツ」と「ヒゲ」は 62.7%が OK だと回答しています。一般企業と比較し、スタートアップ企業では多様な服装・スタイルが OK であることが調査からわかりました。自由な服装・スタイルはスタートアップ企業ならではの社風ようです。

Q. あなたが仕事に際に、最も着用することの多いスタイルをお答えください。また、あなたがお勤めの企業の経営者・役職者で最も多いスタイルをお答えください。【単一回答】

【自身の服装】

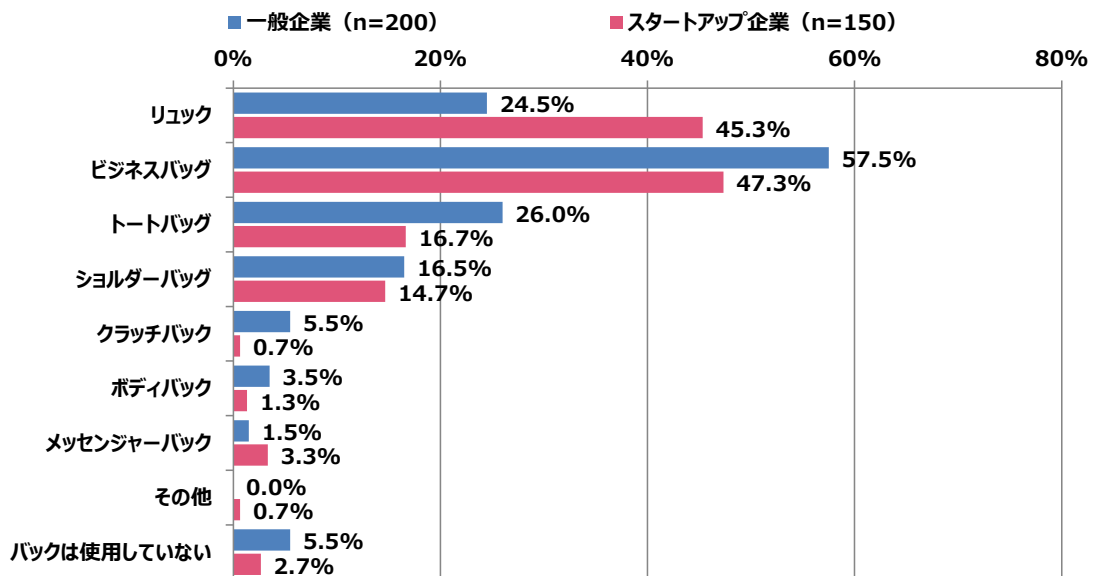


【経営者・役職者】



普段の勤務スタイルは、一般企業では「スーツ」スタイルの方が 58.0%で最も多い回答となりましたが、スタートアップ企業では「ジャケット・パンツ・スカート (スーツ以外)」のジャケパンスタイルが 42.0%で最も多い回答となりました。また、「カジュアル (T シャツ・ジーンズなど)」スタイルの方も 32.7%と、一般企業より 23.2 ポイント多い結果となっています。

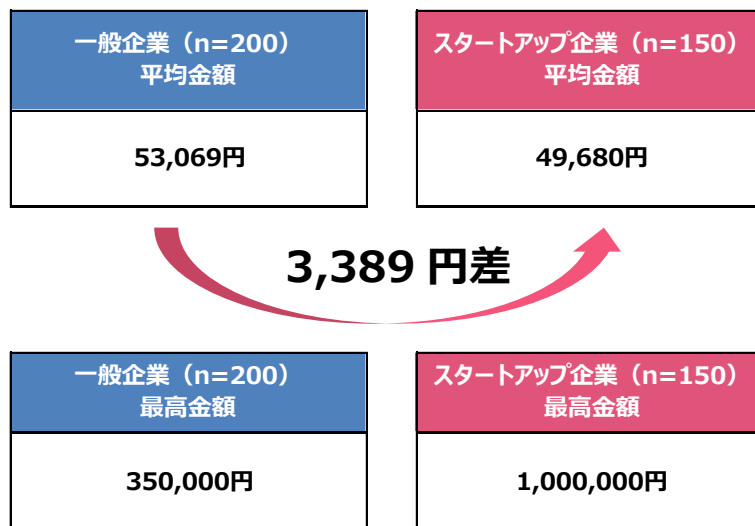
また、一般企業の役職者は一般社員と比較し、「スーツ」スタイルの方が多く、スタートアップ企業 (社員 1 名の企業除く) では一般社員と同様のジャケパンスタイルが多く、一般社員との距離の近さが見受けられます。

Q. あなたが普段仕事で使用しているバッグをお答えください。【複数回答】


仕事で使用しているバッグにも一般企業とスタートアップ企業で差がみられる結果となりました。一般企業は半数以上が「ビジネスバッグ」を利用しているのに対し、スタートアップ企業は「ビジネスバッグ」が47.3%、「リュック」が45.3%と僅差という結果になっています。近年仕事でリュックを使用するビジネスマンが増えていますが、従業員規模300名以上の大企業となると24.5%と、まだまだ少ないようです。ファッションに関する“働き方改革”も一般企業より、スタートアップ企業の方が進んでいることがわかりました。

Q. 仕事の日のトータルコーディネートについて、およその金額をお答えください。【数値回答】

※宝飾品、貴金属は除いた合計金額をお答えください。

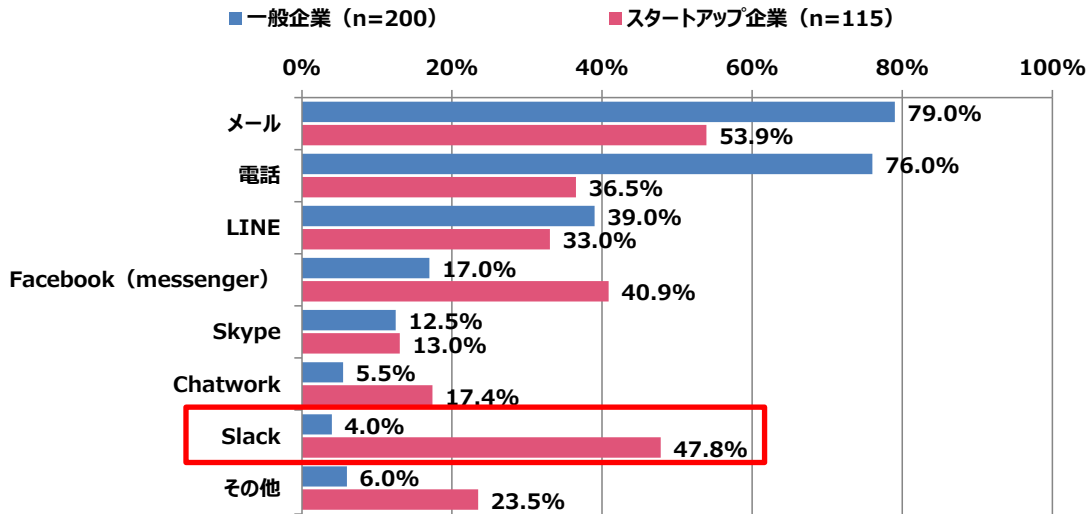


次いで、トータルコーディネートの金額をお聞きしました。一般企業トータルコーディネートの費用は平均「53,069円」となりましたが、スタートアップ企業は平均「49,680円」となり、その差は3,389円となっています。スーツで勤務する方の多い一般企業では、コーディネートにもお金がかかるようです。

しかし、最高金額をみると、スタートアップ企業にお勤めの方のなかには「1,000,000円」と回答した方もいらっしゃいました。スーツにネクタイというビジネスの常識にとらわれず、ブランドのバッグや靴などでファッションを楽しみ、独自のセンスを磨くことで、斬新なアイデアを生み出すヒントとしているのかもしれない。

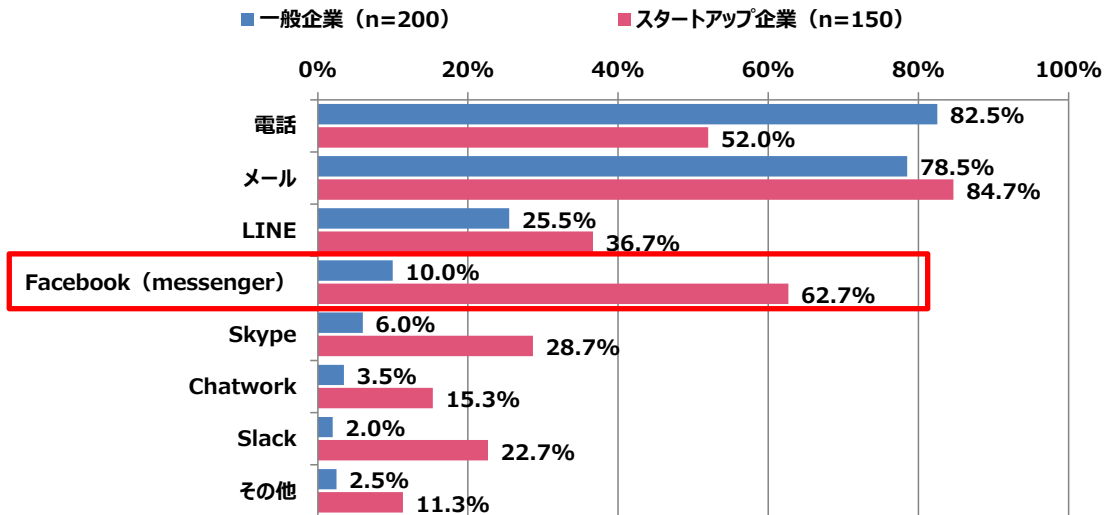
コミュニケーションツールについて

Q. あなたが社内で連絡を取る際に使用しているツールをお答えください。【複数回答】



次いで、仕事に関してお聞きしました。社内で連絡を取る際に使用するツールをお聞きしたところ、一般企業では「メール」が79.0%で最も多く、次いで「電話」76.0%と続きます。しかし、スタートアップ企業では「メール」53.9%に次いで多い回答となったのは、「Slack」で47.8%となりました。一般企業と比較し43.8ポイント差となっています。また、「Chatwork」や「Facebook (messenger)」も一般企業と比較し、スタートアップ企業では多く活用されていることがわかります。オンラインコミュニケーションツールを活用しているスタートアップ企業が多いようです。

Q. あなたが社外の人と仕事で連絡を取る際に使用しているツールをお答えください。【複数回答】



社外では連絡を取るツールにどのような違いがあるのでしょうか。社外の人と仕事で連絡を取る際に使用しているツールをお聞きしたところ、一般企業では「電話」82.5%、「メール」78.5%と続きます。スタートアップ企業では「メール」84.7%に次いで、「Facebook (messenger)」が2位となり62.7%との回答が得られました。一般企業とは52.7ポイントとの差があったことから、取引先等とSNSでつながっていることが推察されます。また、前問同様、「LINE」や「Skype」などの回答が一般企業より多く、社外とのやりとりでもオンラインコミュニケーションツールを活用しているスタートアップ企業が多いようです。